



見事Semifinal A/B進出を決めたJW1x 大門千紗選手（日田林工高校）

2015世界ジュニアレポート（7）

8月6日 (木)

Repechageのレースが、金曜日から→本日8/6(木)の午後に組み込まれました。

そのため、Heatのレースでは、もちろん果敢にアタックを試みながらも、同じ日に2レースを漕ぐことになることを念頭に置き、レースを組み立てていくことを確認しつつ臨みました。

Heatの結果は以下の通り。JPN全クルーRepechageに回りました。

JW1x #6 8:35 Heat1

1位BEL 7:55.44 2位CHI 8:04.22 3位ESP 8:07.04 4位JPN 8:25.42 5位VIE 8:43.71 6位DOM 8:52.88

1->SA/B, 2..->R

JM2x #16 9:25 Heat2

1位ITA 6:38.02 2位SLO 6:52.60 3位JPN 6:59.92 4位ARG 7:06.28 5位ZIM 7:16.05 6位BAH 7:24.52

1-2->SA/B, 3..->R

JW2x #19 9:40 Heat2

1位GER 7:15.65 2位GBR 7:17.72 3位NOR 7:30.83 4位USA 7:31.31 5位JPN 7:39.95 6位DEN 7:45.93

1-2->SA/B, 3..->R



JM2x Repechage 観客席からの大きな声援を受けながら大接戦(S江本拓斗選手(八尾高校) B野村颯士朗選手(美方高校))

JW4x #29 10:30 Heat2

1位GER 6:50.24 2位ROU 6:56.06 3位RUS 7:03.00 4位JPN 7:22.72

1-3->SA/B, 4..->R

JM4x #34 10:55 Heat4

1位GER 6:03.91 2位CAN 6:06.22 3位CHN 6:22.30 4位URU 6:24.93 5位JPN 6:33.77

1-2->SA/B, 3..->R

Heatの後、Repechageまで長い時間となりましたが、選手は会場に残り、AthleteLounge等を上手く利用しながら、休息を取り、午後のRepechageに臨みました。

JW1x #46 15:30 Repechage3

すべての種目でそうですが、各国とも、Heatでどれほどの力を出しているか読めないため、Heatのタイムはあまり参考になりません。

とは言え、このレースではCROとUKRとの決戦になることが予想されました。そんな中、大門選手は落ち着いた雰囲気が出艇いたしました。Rowingを始めてまだそんなに長い時間は経っていませんが、今年に入ってから韓国遠征・ドイツ遠征・そしてWC II への参戦と、海外でのレース経験がその雰囲気を作っているのかもしれませんが。

スタートから、CROとともに抜けだし、500mでは1位CRO、2位JPN、そして3位のUKRには完全に水を開けたレース展開。2位でS A/Bに進みました。

1位CRO 8:21.75 **2位JPN 8:27.26** 3位UKR 8:44.52 4位MEX 8:54.09
1-2->SA/B, 3.->SC/D

JM2x #52 16:00 Repechage2

ブラジルに来てから、さらにスピードを増しているこのクルー。陸から見ても「おっ」と思わせるスピードで艇を滑らせています。欧米の強国相手ですが、十分に3位以内→S A/Bの射程圏内にあると感じていました。

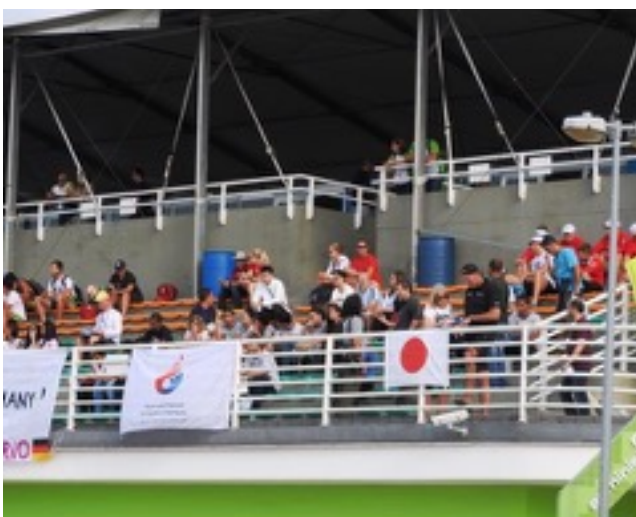
500mでは、GBR・NZLを抑えて1位で通過、その後もリズムよく艇を滑らせ1000mではGBR



URUを抑えるJM4x Repechage (S木村晶選手(函館水産高校)、3瀬戸淳也選手(美方高校)、2高瀬稜真選手(日田三隈高校)、B中村智哉選手(下諏訪向陽高校))



ゴール前必死に追いつけるJW2x Repechage (S横田栞選手(唐津東高校)、B高野晃帆選手(日田三隈高校))



応援に駆けつけたご家族が掲げてくれた日の丸。嬉しい。



気合！



上：見事Semifinal A/B進出を決めたJW4x (S吉田麗美香選手(若狭高校)、3田中麻優選手(宇和島水産高校)、2角谷真緒選手(小松明峰高校)、B永井理湖選手(米子東高校))

下：今朝のコース風景

とほとんど並んでの2位通過。ここからGBR・JPN・NZLが固まりのまま進み、NEDも1艇身以内に詰めてきます。ラスト250mでGBRがややリードするものの、各艇猛烈なスパート。ブラジルまで駆けつけたご家族の大きな声がスタンドからも聞こえます。大歓声の中、各クルーゴールになだれ込みましたが、JPNは惜しくも4位に終わりました。

1位GBR 6:47.90 2位NZL 6:48.65 3位NED
6:49.37 4位JPN 6:49.99 5位USA 7:04.07
6位ZIM 7:20.20

1-3->SA/B, 4.->FC

JW2x#54 16:10 Repechage2

JPNJM2xと同様、快調に艇を動かすこのクルー。もちろん狙うはS A/Bに進む3位以内です。スタートでRSAがリードし、それでも500mでは、RSA・SLOに続き半艇身以内の3位通過。その後も快調に飛ばし、SLOを僅差で抑え2位通過と飛ばします。しかし勝負の第3クォーターでミスオール、完全に艇を止めてしまい1500mではまさかの5位通過。それでもその後も果敢に攻め続け、最後は4位でレースを終えました。

JM2 x ・ JW2 x とも手ごたえを感じつつも、非常に悔しさの残るレースでした。これを今後の力と変えてくれることを期待します。

1位RSA 7:44.57 2位SLO 7:48.18 3位NOR
7:48.55 4位JPN 7:54.06 5位RUS 7:58.63 6
位ZIM 8:03.64

1-3->SA/B, 4.->FC

JW4x #59 16:35 Repechage

13クルーのエントリーですので、このレースで最下位に沈むと今大会のレースが終了してしまいます。それをしっかり認識しながら、気合充分に出艇しました。

SUI・DENとは力の差があるため、地元BRAとの決戦となります。因みにJM4xではBRAはHeat2で1位通過しており、地元の大声援がBRAを後押しします。

500mではそのBRAに先を越され4位通過。それでもじりじりとBRAとの差を徐々に広げ1000mでは3位、その後も着実にBRAとの差を広げ、リズムのよい漕ぎでゴールラインを3位で通過。立派なS A/B進出です。

1位SUI 7:09.44 2位DEN 7:18.15 3位JPN
7:23.56 4位BRA 7:38.50

1-3->SA/B

JM4x #60 16:40 Repechage1

Heatでは緊張からか、本来の力を見せていないように思えました。Repechageでは、ガンガン攻めて行ってほしいところです。

500mでは3位TURに約3秒差で、URUとともに4位通過。その後もURUと並びながら進みません。1500m近くではURUに差をつけ始め、4位のCROとの差も詰め始めます。

Heatとは違ったいいリズムで、4位CROと約1艇身差の5位で終了しました。

1位ITA 6:17.32 2位TUR 6:21.43 3位USA
6:23.75 4位CRO 6:29.17 5位JPN 6:32.90
6位URU 6:34.28
1-2->SA/B, 3..->SC/D

ホテルに戻るバスの中では、スタッフはこの日のレースを振り返りながら、明日のレースについて話をしているのですが、選手たちは近くに座ったブルガリアの選手たちと身振り手振りで、あまり使ったことのない英語でドンドンコンタクトを取っています。

いいぞJPN。